

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第27週 (ARIのみ第26週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (27 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。
 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
 5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例、梅毒 1 例、百日咳 2 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		都城	50歳代	女	無症状病原体保有者	なし
4類	レジオネラ症	延岡	80歳代	女	肺炎型	発熱、意識障害、肺炎
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	30歳代	男	AIDS	発熱、体重減少、盗汗 【指標疾患】非ホジキンリンパ腫
	梅毒	宮崎市	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
	百日咳	宮崎市	5～9歳	女	—	持続する咳
			40歳代	女	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 468 人(定点当たり 25.3)で、前週比 105%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患は R S ウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎、手足口病であった。

また、第 26 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,251 人(定点当たり 44.7)で、前週比 106%と増加した。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 254 人(9.1)で、前週比 102%とほぼ横ばいであった。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

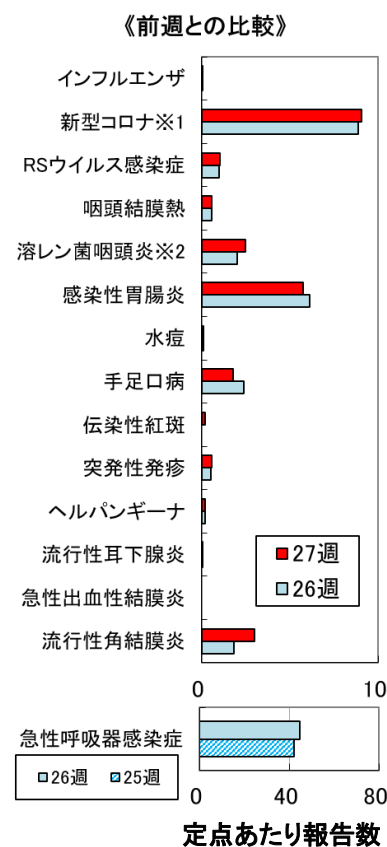
【R S ウイルス感染症】

報告数は 16 人(1.1)で、前週比 107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.51) の約 2.1 倍であった。年齢群別は 3 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

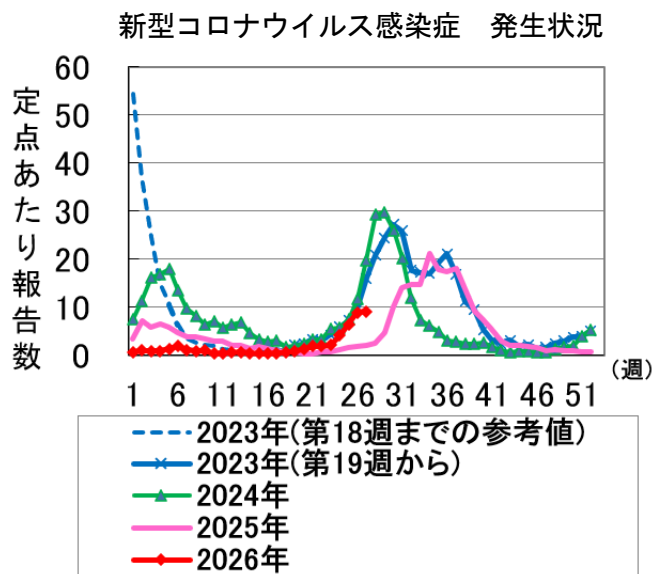
報告数は 37 人(2.5)で、前週比 123%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (2.5) の約 1.0 倍であった。年齢群別は 5 歳から 9 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間 (2015—2019) の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



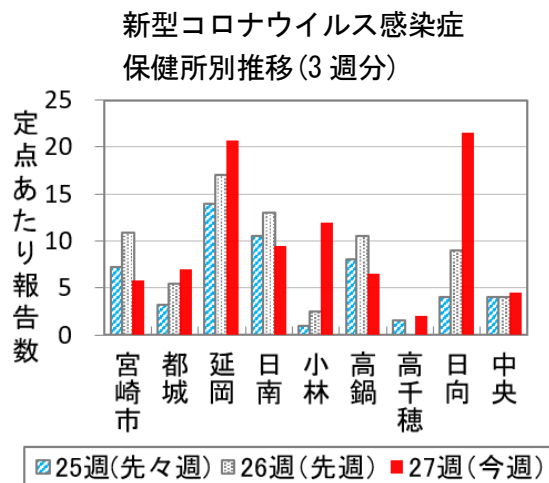
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

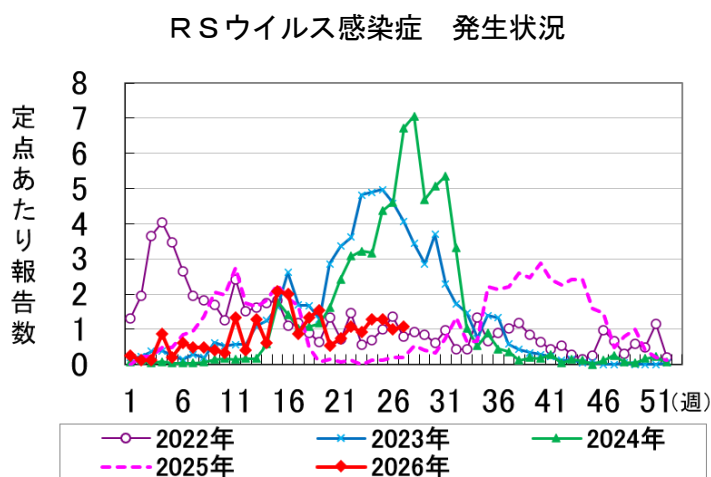
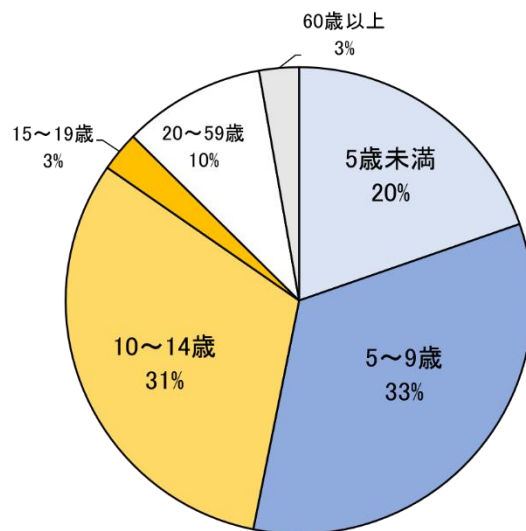


※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 58 から 28 に変更

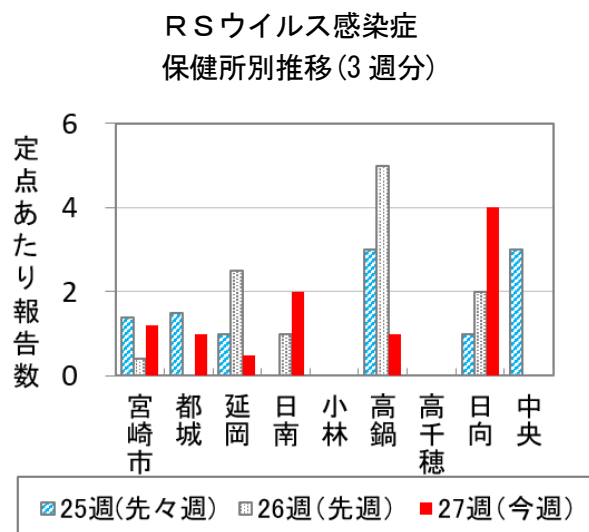
※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値



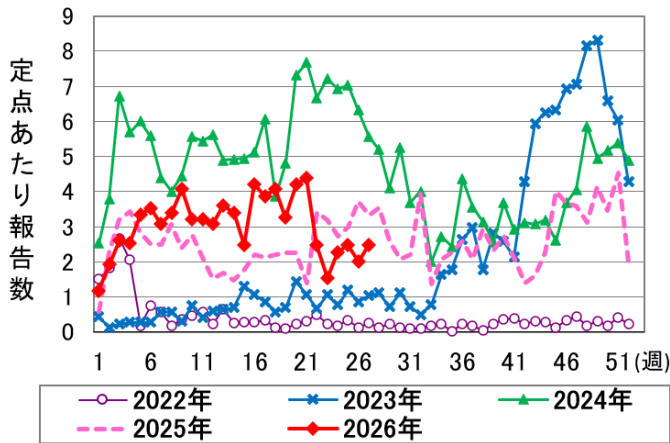
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第 27 週)



※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更

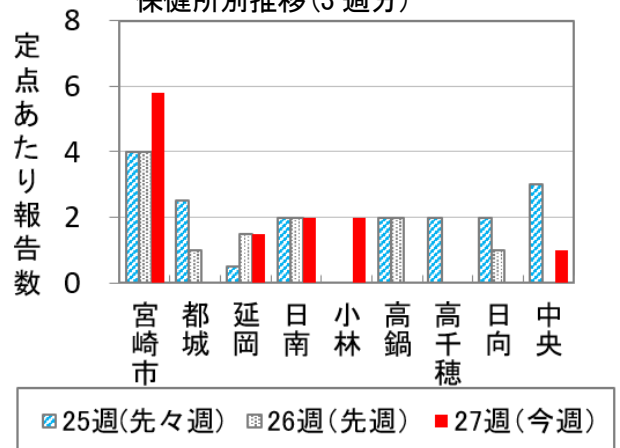


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は2例(定点当たり0.29)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢は5～9歳が1例、10～14歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性角結膜炎(15.0)
日南	手足口病(5.0)、伝染性紅斑(3.0)
小林	手足口病(14.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	感染性胃腸炎(21.0)
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・手足口病(5)
- ・伝染性紅斑(2)
- ・流行性角結膜炎(8)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(第26週:6月22日～6月28日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			1
RSウイルス	A型		1
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		1
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			1
ライノウイルス			0
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
ライノウイルス・新型コロナウイルス			1
検出せず※2			8
受付検体数			13

○ 急性呼吸器感染症(ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症(ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2026 年 7 月 6 日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	0～4歳	女	2026.06.03	発熱、血便	便	2026.06.11
EPEC (O153:HUT)	0～4歳	女	2026.06.09	腹痛、下痢	便	2026.06.17
MDRP	90歳代	男	2026.06.03	発熱、肺炎	喀痰	2026.07.03
<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	0～4歳	女	2026.06.11	発熱、下痢、血便	便	2026.06.18
MDRP	70歳代	女	2026.06.25	敗血症性ショック	喀痰	2026.07.01

○90 代男性及び 70 代女性から MDRP (多剤耐性緑膿菌) が検出された。1 名の方からカルバペネマーゼ産生性が示唆されたので、遺伝子検査を実施したところ、IMP-1 が認められた。カルバペネマーゼ遺伝子は菌種間で水平伝播する可能性があるため、適切な感染対策が重要である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Human Herpesvirus 6	20歳代	女	2026.05.14	麻疹疑い、37.3℃、咽頭炎、皮疹	咽頭ぬぐい液	2026.06.25
Coxsackie virus A6	5～9歳	男	2026.05.14	手足口病、発熱、口内炎	咽頭ぬぐい液	2026.06.26
Human Herpesvirus 6						
Human Herpesvirus 6	0～4歳	男	2026.05.25	麻疹疑い、39.2℃、紅斑、下痢	咽頭ぬぐい液	2026.06.30
			2026.05.25		全血	2026.06.30
			2026.05.25		尿	2026.06.30
Rhinovirus	60歳代	女	2026.05.29	麻疹・つつが虫病・日本紅斑熱疑い、39℃、発疹(紅斑)	全血	2026.07.06

🇯🇵 全国 2026 年第 26 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	213 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	123 例	腸チフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	9 例	エムボックス	5 例
	回帰熱	2 例	重症熱性血小板減少症候群	7 例	つつが虫病	2 例
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	21 例	レジオネラ症	51 例
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	17 例	急性脳炎	4 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15 例	後天性免疫不全症候群	14 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	35 例
	水痘(入院例)	14 例	多剤耐性緑膿菌感染症	5 例	梅毒	172 例
	百日咳	66 例	麻しん	6 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 108%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 98%とほぼ横ばいであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 4,044 人(1.1)で前週比 127%と増加した。鹿児島県(9.2)、宮崎県(8.9)、愛媛県(6.4)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

手足口病の報告数は 10,396 人(4.6)で前週比 136%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.5)の約 1.3 倍であった。島根県(20.5)、大分県(10.9)、佐賀県(9.4)、福岡県(9.4)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 8 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 2,592 人(1.2)で前週比 135%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約 0.8 倍であった。山口県(4.3)、島根県(3.2)、福岡県(2.8)、大分県(2.8)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.04	0.04	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	249	254	52	28	62	19	24	13	4	43	9
	定点当り	8.89	9.07	5.78	7.00	20.67	9.50	12.00	6.50	2.00	21.50	4.50
RSウイルス感染症	報告数	15	16	6	2	1	2		1		4	
	定点当り	1.00	1.07	1.20	1.00	0.50	2.00	0.00	1.00	0.00	4.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	9	9	3	3	1					1	1
	定点当り	0.60	0.60	0.60	1.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	30	37	29		3	2	2				1
	定点当り	2.00	2.47	5.80	0.00	1.50	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	92	86	30	10	5	1	17	2		21	
	定点当り	6.13	5.73	6.00	5.00	2.50	1.00	17.00	2.00	0.00	21.00	0.00
水痘	報告数	2	2	1		1						
	定点当り	0.13	0.13	0.20	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	36	27	2	1	1	5	14	2		1	1
	定点当り	2.40	1.80	0.40	0.50	0.50	5.00	14.00	2.00	0.00	1.00	1.00
伝染性紅斑	報告数		3				3					
	定点当り	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	8	9	6		1			1		1	
	定点当り	0.53	0.60	1.20	0.00	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	3			1		2				
	定点当り	0.20	0.20	0.00	0.00	0.50	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.07	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	11	18	2	1	15						
	定点当り	1.83	3.00	0.67	0.50	15.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	2	2								
	定点当り	0.14	0.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第26週(06月22日～06月28日)

		第25週	第26週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1175	1251	340	134	194	116	77	137	57	129	67
	定点当り	41.96	44.68	37.78	33.50	64.67	58.00	38.50	68.50	28.50	64.50	33.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～27週 保健所受理分)

2類感染症	結核	72例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例				
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例	つつが虫病	4例
	日本紅斑熱	8例	レジオネラ症	6例(1)		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	1例	クリプトスポリジウム症	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染	6例	後天性免疫不全症候群	4例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	8例
	水痘(入院例)	6例	多剤耐性緑膿菌感染症	2例	梅毒	33例(1)
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	1例	百日咳	41例(2)
	麻疹	1例				

()内は今週届出分、再掲